

(写)

5家ク連131・1号
令和6年1月20日

学 校 長 様
家庭科担当者様

全国高等学校家庭クラブ連盟
成人会長 平柳 伸幸
(公 印 省 略)

令和6年度全国高等学校家庭クラブ連盟加盟について（お願い）

平素より全国高等学校家庭クラブ連盟（以下全国連盟）の活動につきまして、ご理解ご支援をいただき誠にありがとうございます。

このたび、学校家庭クラブ活動への理解を深め、高等学校における教育活動の充実・発展のため、全国高等学校家庭クラブ連盟への加盟につきましてご案内申し上げます。

全国連盟は、昭和28年文部科学省の指導により結成され、現在、約1,350校21万人の生徒(家庭クラブ員)が加盟しています。学校家庭クラブ活動は、必修教科「家庭科」の指導内容として学習指導要領に示されており、家庭科で学んだ知識と技術を生かし、自らが暮らしの中にある課題を探究し、家庭や学校・地域の改善向上を図ることを目的としています。全国連盟はその活動を推進する教育組織として昨年70年を迎えました。

連盟の活動としては、「全国高等学校家庭クラブ研究発表大会」と「全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座」を文部科学省共催で毎年開催し、クラブ員の学びの場となるとともに家庭科教育の指針として多くの教育関係機関から評価されています。

また、全国的な規模でのコンクールやコンテストを開催し、最優秀作品には文部科学大臣賞が授与されます。さらに、1年間無償でアメリカ留学できる事業も行っています。その他、機関誌「F H J」を年5回刊行し、全国の学校の取り組みや活動状況などを掲載しています。これらの事業は、加盟している生徒の会費（年額100円/人）を中心に一般財団法人家庭クラブの補助で運営しています。

新学習指導要領における家庭科では、実践的・体験的な学習活動を通したよりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成があげられています。特に、「ホームプロジェクト」と「学校家庭クラブ活動」は、家庭や地域の課題を主体的に設定し、その解決に向けた手法を科学的に探究し、創造する学習として位置付けられ、さらにその学びの手法は、総合的な探究の時間にも生かされ、生徒の探究的・協働的な学習活動に取り入れられています。

つきましては、全国高等学校家庭クラブ連盟へ加盟いただき、学習活動の推進を図っていただきますようお願い申し上げます。

なお、加盟におきましては所在の都道府県連盟事務局までご連絡ください。

全国高等学校家庭クラブ連盟
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-20-6
TEL 03-3370-6321 Fax 03-3370-6763
メールアドレス zenkoku@kateikurabu-renmei.jp

主体的な学びを通して探究力を育む学校家庭クラブ活動

学校家庭クラブ活動を学習する意義

- 学校家庭クラブ活動とホームプロジェクトは、必修教科「家庭科」の指導内容として **学習指導要領に位置づけられている**教育内容です。総合的な探究の時間にも活用できます
- 家庭科で学んだ知識と技術を生かし、自らの **生活の質の向上**を図り、学校や地域と共に **地域貢献、異年齢交流、伝統文化の継承**活動を行っています。

学校家庭クラブ活動で育つ力

- 生活を科学的に **探究する方法や課題解決能力**を高め、これからの社会を生きぬく実践力と創造力を育てます。
- 活動を通して広がるコミュニケーション能力は、周囲の人への思いやりと感謝の心を育て、**人間力のあるリーダーシップ**が発揮できます。

[全国高等学校家庭クラブ連盟とは]

文部科学省の公認教育団体として昭和28年に結成され、昨年70周年を迎えました。

現在、約1,350校・21万人が会員として所属しており、全国の都道府県学校家庭クラブ連盟を通じてその活動を支援しています。運営は、生徒の会費(100円/年)を中心に、一般財団法人家庭クラブ等の補助で行っています。

[全国高等学校家庭クラブ連盟の活動]

(1) 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会の開催

全国9ブロックから選出されたホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の研究発表大会が行われ、最優秀には文部科学大臣賞が授与されます。今年度は、7月27,28日宮崎県において第71回全国大会を開催し、述べ2000人が参加しました。

(2) 全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座(文部科学省共催)の開催

都道府県連盟の学校家庭クラブ活動を担うリーダー養成研修を渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで実施しています。この養成講座では、家庭科教員を対象に学校家庭クラブ活動の指導者研修も同時に行われ、受講者には文部科学省より修了証が授与されます。

(3) 連盟主催コンクール・コンテストの開催

クラブ員が応募できる全国規模のコンクールとして、料理コンクール、ホームプロジェクトコンクール、クリエイティブコンテスト、冷凍めん料理コンクールを開催しており、最優秀作品には文部科学大臣賞等が授与されます。また、1年間無償でアメリカへ留学できるスカラシップ留学生派遣制度があります。

(4) 連盟機関誌「FHJ」の刊行

年5回発行し、全国の各学校の取り組みや活動状況等の情報発信を行っています。

リーフレット「つながろう深めよう学校家庭クラブ活動」
連盟HP <https://kateikurabu-renmei.jp/> も併せてご覧ください。

家庭クラブ連盟への加入については所在する都道府県の連盟事務局にご連絡ください。

※ お問い合わせ 全国高等学校家庭クラブ連盟 (zenkoku@kateikurabu-renmei.jp)

つながろう 深めよう 学校家庭クラブ活動



これからの生きる力を身につける

主体的な学びを通して探究力を育てる学校家庭クラブ活動

学校家庭クラブ活動で育つ力

- 学校家庭クラブ活動とホームプロジェクトは、「家庭科」の学習内容として学習指導要領に位置づけられています。家庭科の学習で身に付けた知識と技術を生かし、自らが主体的に暮らしの中にある課題を解決する学習です。
- 生活を科学的に探究する方法や課題解決能力を高め、これからの社会を生きぬく実践力と創造力を育てます。
- 活動を通して広がるコミュニケーション能力は、周囲の人への思いやりと感謝の心を育て、人間力のあるリーダーシップの育成につながります。

実施方法

■ 学校家庭クラブ活動 ■

—— 学校・地域のために ——
グループや学校単位で学校や地域の生活の充実向上をめざす実践活動

- 誰が** 家庭科を学習している
ホームルームや講座
学校単位で
- 何を** 学校や地域社会の中で
発見した課題を
- どのように行うか** 先生の指導助言を受けながら
お互いに協力し
主体的に研究・実践する
- その結果** 試行錯誤を重ねながら
学校や地域生活の充実向上に
つながるものへ発展させる

See
問題発見
テーマ決定

Plan
計画

Do
実施

See
反省・評価
発表

■ ホームプロジェクト ■

—— 家族・家庭のために ——
一人ひとりが自分の生活を見つめ、
家庭生活の充実向上をめざす実践活動

- 誰が** 家庭科を学習している
生徒一人ひとりが個人で
- 何を** 各自の家庭生活の中で
発見した課題を
- どのように行うか** 家庭科教師の指導助言を受けながら
家族の理解・協力を得て
主体的に研究・実践する
- その結果** 試行錯誤を重ねながら
家族や家庭生活の充実向上に
つながるものへ発展させる

個人の実践活動を学校や地域へ広げる

学校家庭クラブの実践活動を各自の生活の中に取り入れる

学校家庭クラブ活動の4つの基本精神

- シンボルマークは、全国高等学校家庭クラブ連盟創立50周年を記念し、家庭クラブ員により作成されました。
- FHJを囲む四つ葉のクローバーは、連盟の四つの精神「創造・勤労・愛情・奉仕」を表しています。
- FHJの赤は愛情、四つ葉の緑は自然と環境を表し、「人と人とのふれあいを大切にし、自然と共に生きる」という家庭クラブ活動への思いが込められています。

創造

勤労

奉仕

愛情



FHJとは、Future Homemakers of Japan の略

創造 新たなものを創造し、飛躍する意欲を持つこと

勤労 自ら進んで行動し、実践すること

愛情 優しく温かい気持ちを持ち、人と接すること

奉仕 他者への思いやりの心を大切にし、尽くすこと

学校家庭クラブ活動

実践・体験を通して育まれる心と力

学校家庭クラブ活動の実践により、社会で求められている「心」と「力」が養われます。

- 周囲の人を思いやり、感謝する心
- 家族や地域に目を向け、大切にすること
- 地域社会の活動で広がる人間関係と視野
- グループ活動で身につくコミュニケーション能力
- 取り組みを伝えるプレゼンテーション能力
- 実践活動で発揮するリーダーシップ

活動例

- 総会、役員会
- 新入クラブ員歓迎会
- 他校のクラブ員との交流
- 幼・小・中学生との交流
- 地域行事への参加
- 伝統行事や伝統料理講習会
- 家族へのプレゼント講習会
- 卒業を祝う会・プレゼント作り



- 防災マップの作成・配布
- 講習会(料理、手話、着付)
- 文化祭展示
- 「課題研究」の取り組み
- コンクールへの応募
- 地産地消の商品開発
- ホームプロジェクト発表会
- 家庭クラブ新聞の発行

研究活動



交流活動

ボランティア活動

- 施設訪問
- 校内・地域美化活動
- 募金活動
- 駅の清掃
- バザー
- 花いっぱい運動



※家庭クラブ連盟では、地球の未来を守るため、SDGs(持続可能な開発目標)につながる活動を推進しています。

クラブ員(生徒)・顧問教諭からの声

クラブ員

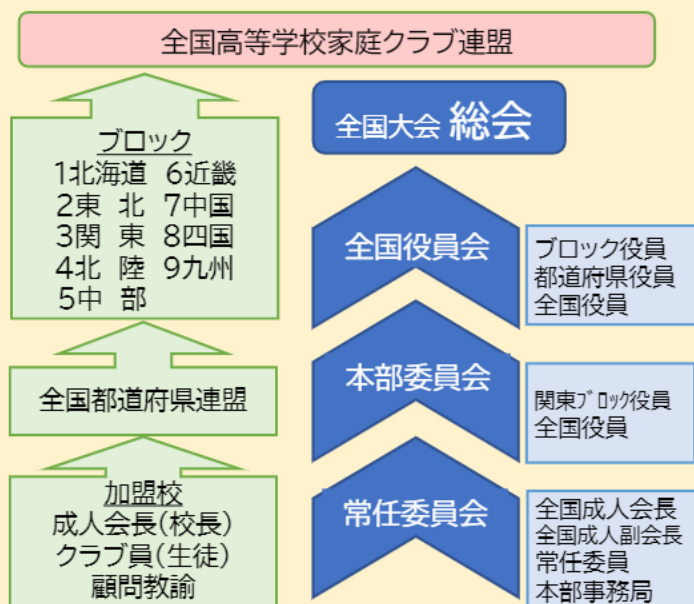
- 福祉施設との交流を通して、高齢者への理解が深まり、接し方が変わった。
- 保育園訪問をきっかけに、子供とのふれあいが楽しみになり、保育士をめざすようになった。
- 地域の特産物を活用し、道の駅や物産展での販売を行い、町おこしにつながった。
- 学校全体で朝食をとる運動や弁当コンテストを行い、食育の推進につながった。
- 地域の人々との交流を通して、郷土の文化や自然を愛し、地域の伝統に誇りを持つことができた。

顧問教諭

- 高齢者や乳幼児との交流を通じて、家族や地域、社会の果たす役割に気づかせることができた。
- 地域・社会の一員として自覚を持ち、支え合い共に生きる大切さを考えさせることができた。
- 防災などの安全や環境に配慮した生活を通して、地域全体への防災意識が高まった。
- 生活文化を継承し、家庭や地域の充実向上を図る実践的な態度を育てることができた。
- 食文化の継承を視野に入れた献立や調理を通じて、地域貢献への取り組みにつながった。

全国高等学校家庭クラブ連盟

組 織



- 加盟校一覧の作成
- 家庭クラブ週間の実施
- 全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座の開催
- 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会の開催
- 歳末たすけあい募金などの実施
- 全国高等学校家庭クラブ連盟クラブ員表彰
- FHJ 誌の編集協力
- 連盟主催各種コンクール
 - 1 全国高校生料理コンクール
 - 2 全国高校生ホームプロジェクトコンクール
 - 3 全国高校生クリエイティヴコンテスト
 - 4 FHJスカラシップ留学生の派遣
- 国際交流(アメリカのFCCLAとの交流)
- FHJ ガイドブックの編集協力

歴 史

昭和28年8月 全国高等学校家庭クラブ連盟結成
 平成14年 8月 50 周年記念大会開催
 令和 4年 7月 70 周年記念大会開催
 令和 3年度 全国連盟家庭クラブ員数 222,515 名

加盟するには

年度初めに、各学校から都道府県連盟の会長校に申し込んでください。
 全国連盟会費は、生徒一人年額100円です。
 都道府県連盟会費は別途各連盟にお問い合わせください。

お問い合わせ 全国高等学校家庭クラブ連盟事務局
 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-20-6 TEL 03-3370-6321
 ホームページ <https://kateikurabu-renmei.jp/>



料理コンクール表彰式



料理コンクール最優秀作品



ホームプロジェクト
コンクール表彰式



クリエイティヴコンテスト
文部科学大臣賞作品

一般財団法人家庭クラブ

学校家庭クラブ活動の拠点として設立された「家庭クラブ会館」の運営等を行うために、昭和34年に設立された財団法人家庭クラブは、平成24年4月の法人化に伴い、「一般財団法人家庭クラブ」となりました。
 一般財団法人家庭クラブは、高等学校における学校家庭クラブ活動の充実と発展を図り、家庭科教育の振興、さらには社会生活の改善と文化の振興に寄与することを目的に次の事業を行っています。

- 全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座の主催
- 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会の主催
- 連盟主催の各種コンクールの共催
 - 1 全国高校生料理コンクール
 - 2 全国高校生ホームプロジェクトコンクール
 - 3 全国高校生クリエイティヴコンテスト
 - 4 FHJスカラシップ留学生の派遣
- 学校家庭クラブ活動推進助成事業
- 機関誌「FHJ」の発行及び販売
- FHJ ガイド&ワークブック、FHJ ガイドブックの発行及び販売
- 家庭クラブ関係の DVD、CD、バッジ、連盟旗等の販売
- 貸会議室の活用と会館の維持管理

